

音楽室だより

音楽室便り No.1
令和2年5月11日発行
中野区立中野本郷小学校
校長 柳沢 晶子
音楽専科 小田 康介

今年度も3～6年生の音楽を担当する小田康介です。3年生は今年から、4年生以上は今年も引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

臨時休業中、皆さんはどんな過ごし方をしていますか？先生は、GWを使って久しぶりにピアノの練習をしました。曲は、今年で生誕250周年を迎えたベートーヴェンのピアノ・ソナタです。こんなにじっくり練習するのは、音大を卒業して以来だなと感じました。皆さんも、こんな時だからこそできることを見つけて、いろいろチャレンジしてみてくださいね。



さて臨時休業に伴い、音楽室からもいろいろ課題を用意してHPに掲載しています。それぞれ「こんな意識で取り組んでもらえたら」ということを、まとめました。ぜひ課題に取り組むときの参考にしてください。

① 歌やリコーダーの学習について

新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐために、国や東京都では学校再開後もしばらく歌やリコーダーの授業を行わないようにという話になっています。一方、各学年には「共通教材」といって、その学年で必ず学習することになっている歌があります。

そこで4月・5月の課題では、もしこのまま学校で歌を歌えなくても「共通教材」の曲に親しむことができるよう、学習課題に取り上げておきました。ただ歌うだけではなく、よりその曲を理解して味わうことができるよう、今後ワークシート等も作成してHPに載せていこうと思います。



リコーダーについては、YAMAHAが期間限定で無料公開している「デジタル教材」をHPに載せてあります。楽譜や音源だけではなく、解説やお手本も出ているので、昨年までの学習を復習しながら練習することができます。採点機能もあるので、カラオケの採点のようにチャレンジしてみるのもいいですよ。

なお3年生のリコーダーについては、学校再開後に申し込みを取りまとめる予定でいます。学習が始まるのを、楽しみにしてください。



裏面へ続く

② なぞとき音楽ドリルについて

音符や休符の種類については主に2年生で、五線譜（ドレミ）の読み方については主に3年生で学習することになっていますが、授業では実際に音楽を聴いたり演奏したりする時間を優先しているため、なかなか十分な時間をかけた学習ができていません。



そこで、この機会に少しでも楽譜に親しんでもらえたらと思い、「なぞとき音楽ドリル」というプリントを作成してHPに掲載しています。



内容の構成はどの学年も同じにして、学年が上がるにつれて少しずつ中身が難しくなるように作成しています。もし難しくくてできないと感じた場合は、学年に関わらず3年生のプリントに取り組んでみてください。

また自分の学年のプリントのなぞを解くと、教科書とも仲良くなれるようにしてあります。学習をしながら教科書をめくって楽しんでください。

③ プログラミング学習について

①にも書いた通り、学校が再開しても音楽の時間にできる活動が制限される可能性が高いです。そこで学校再開後の学習では、今年度から本格的に始まる、プログラミング学習を取り入れていこうと考えています。



しかし正直なところ先生もプログラミングソフトを使ったので、この休業期間に実際に色々な操作をしてみて、何ができるのか、また音楽の授業ではどんな活用ができるのか、試行錯誤しているところです。

授業で使用を検討している「Scratch3.0」というソフトは、一番下のリンク先に無料公開されています。インターネットがつながるPCやタブレットがあれば、誰でも使用できます。音楽に限らず、ゲームやアニメをつくるなど、様々なことができるソフトです。興味がある人はお家の人と相談して、ぜひ試してみてください。

Scratch 公開アドレス <https://scratch.mit.edu>

♪ 今後について ♪

音楽室では、臨時休業中も家庭で様々な取り組みができるよう、今後も課題を作成して公開していきます。合わせてHPにこの音楽室便りを掲載し、取り組み方や内容についてもお知らせしていこうと考えています。ぜひまたお読みください。